

INTERCORE

印刷コストの削減！ 印刷物による情報漏洩防止！ の決定版

ユニバーサルプリンタ + セキュリティ

マルチベンダー対応 どこでも認証プリント

株式会社インターコア

URL www.intercore.co.jp

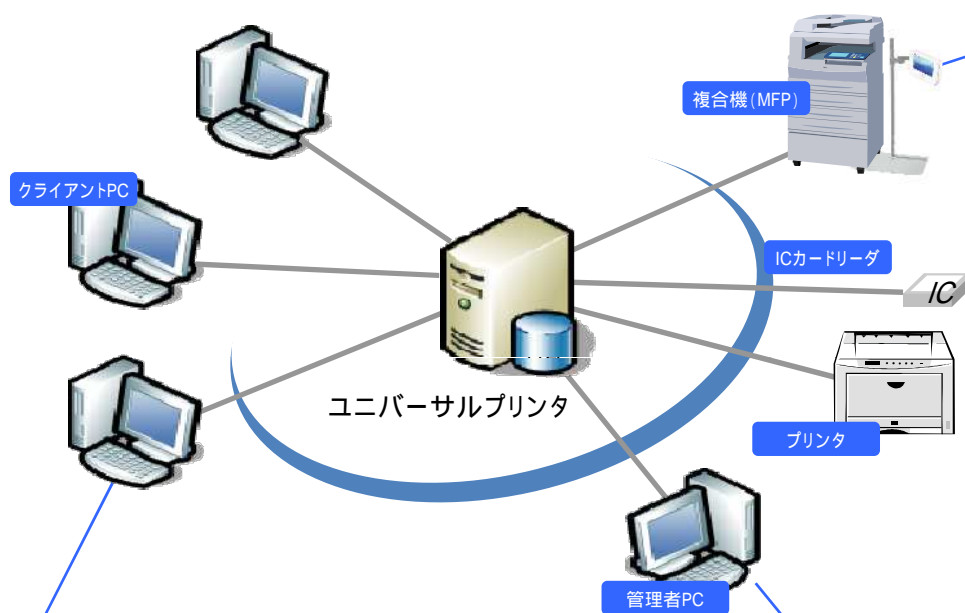
Mail info@intercore.co.jp

ユニバーサルプリンタ

INTERCORE

マルチベンダ対応 どこでも認証プリント

『マルチベンダ対応』の『認証プリント』



マルチベンダ対応で、プリンタベンダや機種に依存することなく、既存の印刷環境にアドオンするだけでICカードによる認証印刷を実現し、放置プリント/のぞき見の抑制、印刷物からの情報漏えい防止にお役立ていただけます。



各MFP固有の設定印刷もタッチパネルからおこなうことが出来ます。ジョブの選択/キャンセルも可能ですので、無駄な印刷を防ぎます。

プリンタを意識せずに『どこでも』印刷

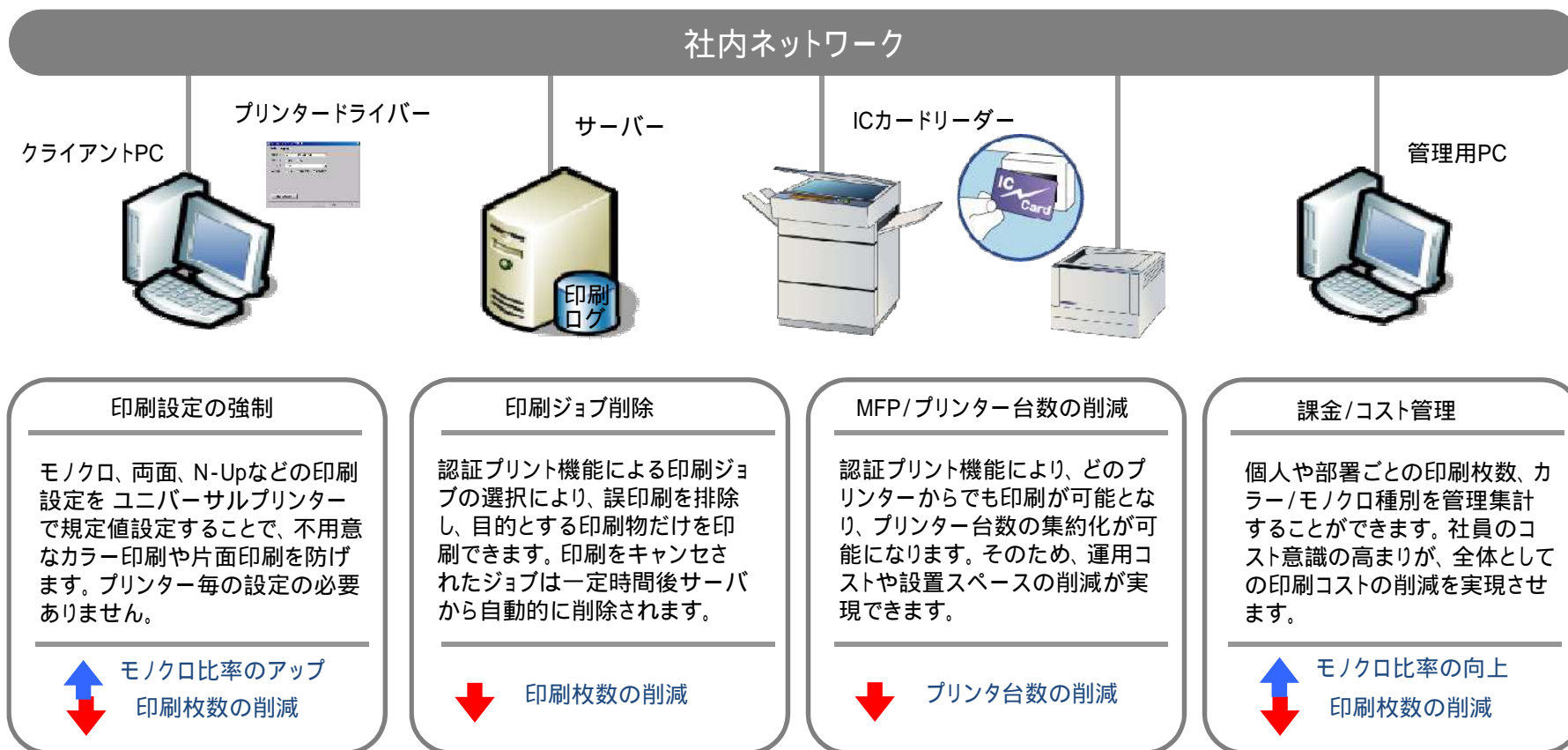
誰が、いつ、何を、どれだけ印刷したのか『印刷ログ』



クライアントは複数メーカーのプリンタ/複合機も意識せずに、ユニバーサルプリンタードライバー一つで、任意の空いているプリンタから印刷ができます。複数のドライバをインストールする必要はありません。



誰が、いつ、何を、どこから、どれだけ印刷したのか、管理者はWebからアクセスして素早い印刷物の追跡調査が可能です。また、無駄な印刷の抑止も可能です。課金システムとの組み合わせもできます。



印刷コスト削減のしくみ

INTERCORE

印刷指示ミスしたジョブを出力しない
不要な印刷物は出力しない
不用意なカラー/片面印刷はしない

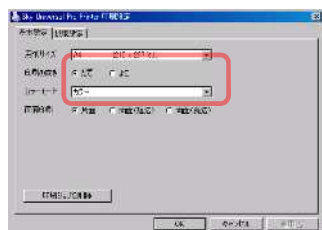


印刷指示



クライアントPC

印刷設定の強制

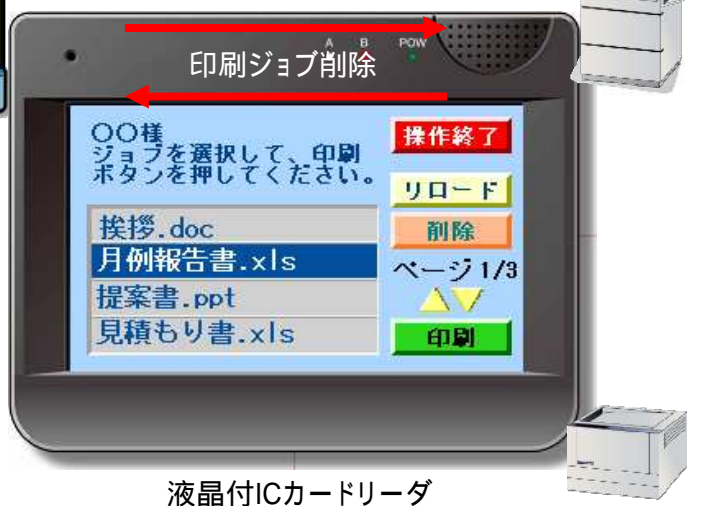


デフォルトで、「モノクロ」、「両面」に設定しておきます。必要な時だけ「カラー」、「片面」で印刷します。禁止する場合はグレーアウトさせることも可能です。

タッチパネル

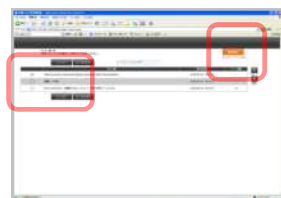
印刷ジョブ一覧表示

印刷ジョブ削除



液晶付ICカードリーダー

クライアントから削除する場合



削除するジョブを選択します。複数選択することも可能です。「削除」ボタンを押します。

タッチパネルの場合



削除するジョブを選択します。複数選択することも可能です。「削除」ボタンを押します。

液晶IC付カードリーダーの場合



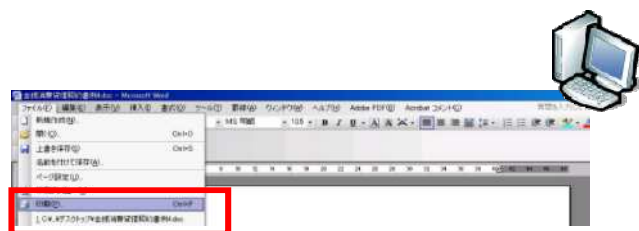
削除するジョブを選択します。複数選択することも可能です。「削除」ボタンを押します。

ユニバーサルプリンタの操作イメージ

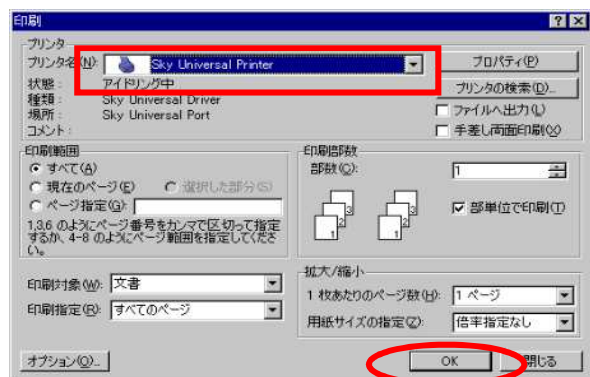
INTERCORE

クライアントPCから印刷指示

クライアントPCでの印刷指示は、従来通りの操作
どのプリンタに出力するか意識する必要はありません



「印刷」メニューから起動

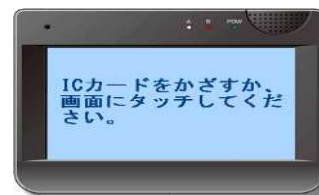


「ユニバーサルプリンタ」が選択されている
「OK」をクリックし

OAプリンタでの操作

印刷指示後は、印刷したいプリンタでICカードをかざすだけ
空いているプリンタなど、いつでもどこでも印刷可能
印刷指示後、出力のキャンセルが可能
タッチパネルから印刷ジョブ削除の操作が可能

待ち受け画面で、ICカード認証



カード忘れのとき



液晶付カードリーダー

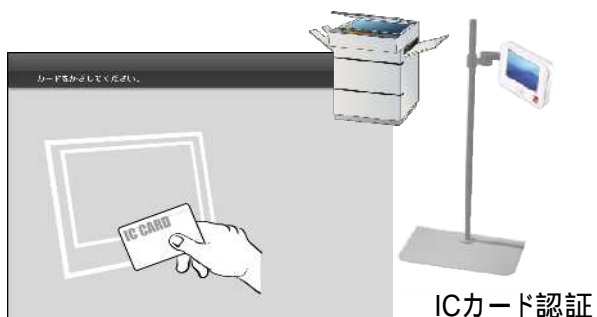
印刷JOBを選択します。複数選択することも可能。
ジョブを削除したい場合は「削除」ボタンを押下。

複合機 (MFP) での操作イメージ

INTERCORE

印刷指示後は、印刷したいプリンタでICカードをかざすだけ
空いているプリンタなど、いつでもどこでも印刷可能

印刷指示後、出力のキャンセルが可能
タッチパネルから印刷ジョブ削除の操作が可能



複合機固有の印刷設定も可能



本人の認証IDが表示



削除するJOBを選択。
複数選択することも可能

「削除」ボタンを押下



印刷JOBを選択します。
複数選択することもできます。
「プリントアウト」ボタン押下

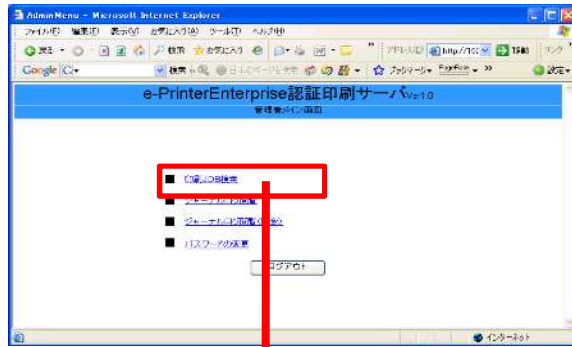


「決定」ボタンを押下

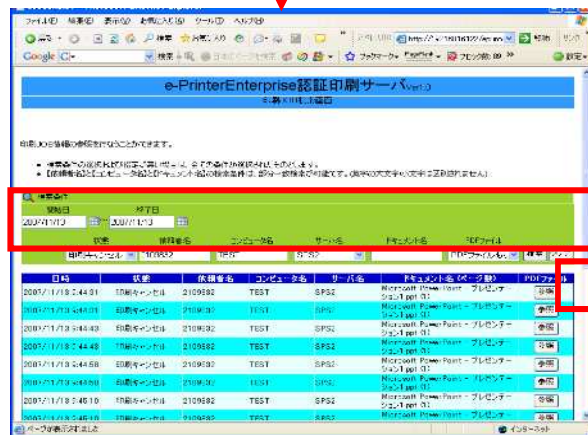
管理者PCの操作イメージ

管理者は、印刷記録から検索し印刷イメージを確認可能
印刷記録から期間や依頼者、コンピュータ名、ドキュメント名などの検索条件を指定し、印刷JOB一覧を表示し該当の印刷イメージ(PDF)を確認可能

個人/部署ごとに複合機の課金情報(枚数/カラー/モノクロ)を管理することが可能。



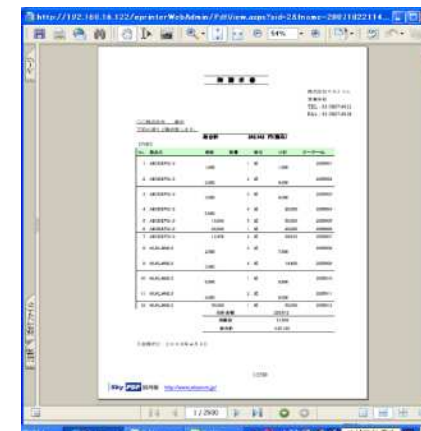
印刷JOB検索をクリック



検索条件(開始日～終了日、状態、依頼者名、コンピュータ名、サーバ名、ドキュメント名、PDFファイルある/なし)を設定し[検索]ボタンを押下すると、該当の印刷JOB一覧が表示される。

印刷JOBの[参照]ボタンを押下すると、当該文書の印刷イメージ(PDF)が表示される。

PDFログ



コピー / スキャナへの適用

INTERCORE

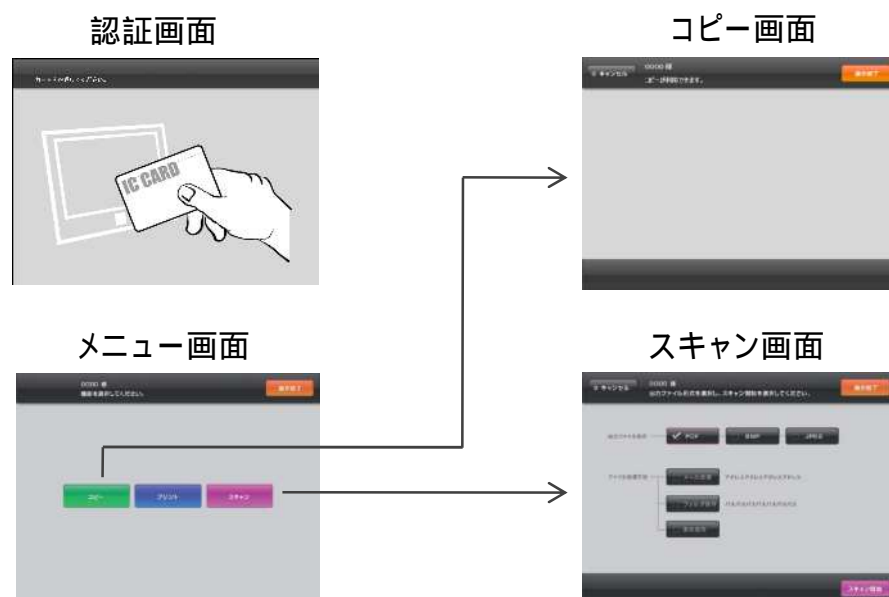
複合機をフルに制御 コピー、スキャナ操作もICカードで認証

コピー連携

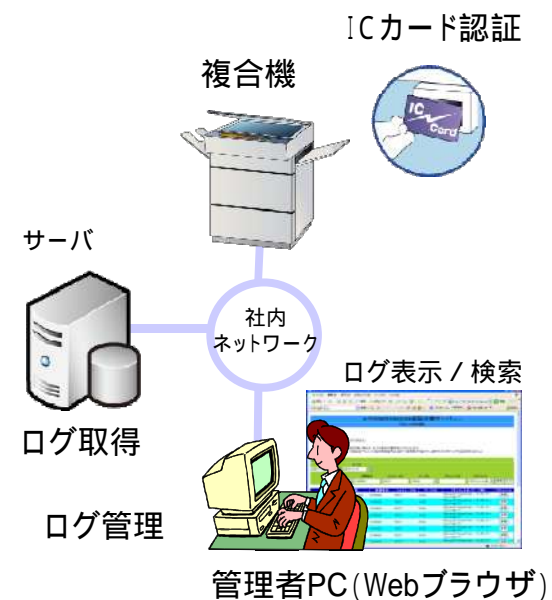
- ・ICカード認証により複合機のコピー操作を有効にします。
- ・誰が、いつ コピー操作したかのログを取得 / 管理できます。

スキャナ連携

- ・ICカード認証により複合機のスキャナ操作を有効にします。
- ・誰が、いつ スキャナ操作をしたかのログを取得 / 管理できます。
- ・スキャンした画像は、イメージログとして取得 / 管理できます。
- ・スキャンした画像は、指定のファイルサーバに保存、または、メール送信



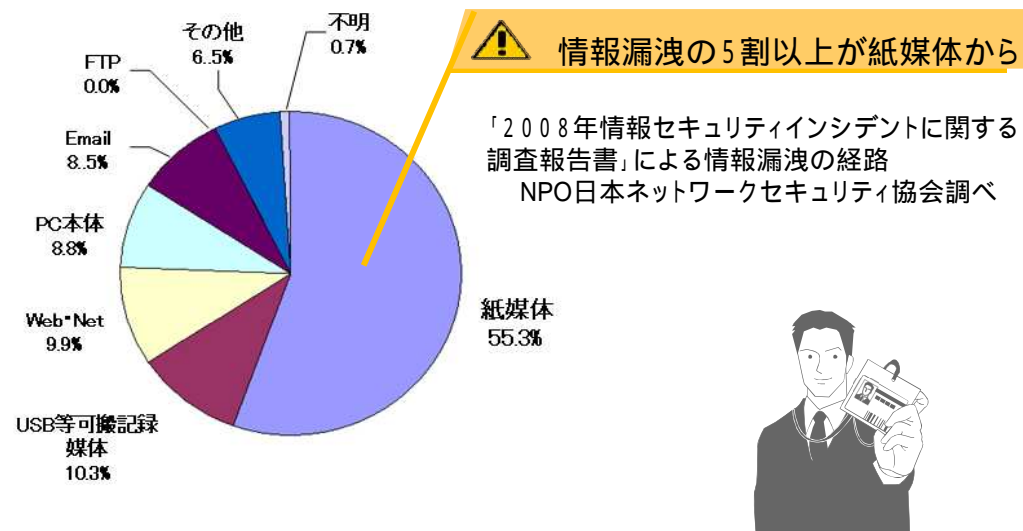
無駄なコピーによる用紙・トナーコストを削減
コピー / スキャナによる情報漏洩の抑止
スキャナによる情報漏洩時の発生源の特定



コピー / スキャナ連携は、複合機毎に組込みを行います。

情報漏洩の現状と「どこでも認証印刷」

ご存知でしたか？



紙媒体による情報漏洩は、引き続き厳しい状況にあります。紙を1枚印刷することは、印刷コストが上がるだけでなく、それだけでセキュリティの低下を招いています。

特に問題なのは、『悪意の無い過失による情報漏洩』（重要書類の混在など）と言われています。

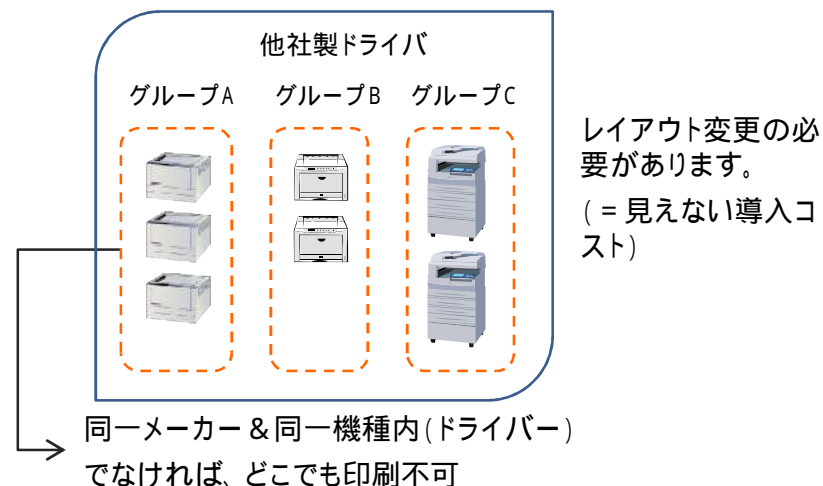


ロケーションフリー印刷の範囲

ユニバーサルプリンタによる「どこでも認証印刷」



他製品のグルーピング機能によるロケーションフリー印刷



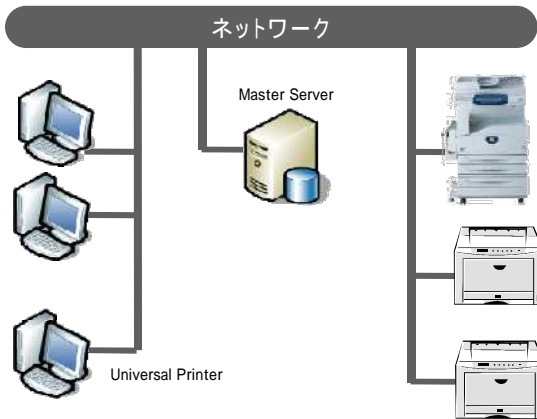
ソリューションモデル

INTERCORE

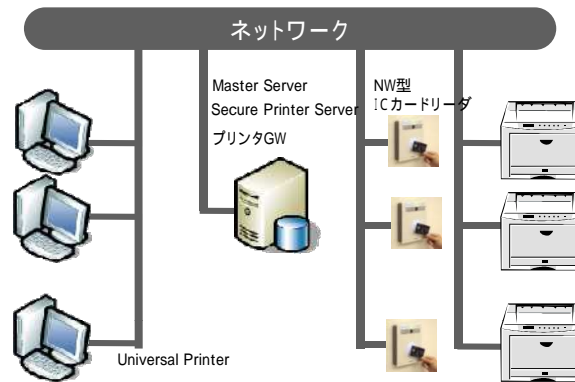
印刷ログ

どこでも認証&印刷ログ

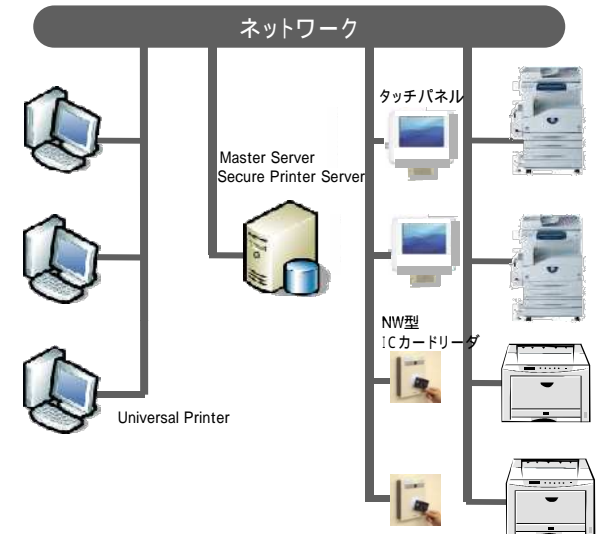
クライアント型 印刷ログモデル



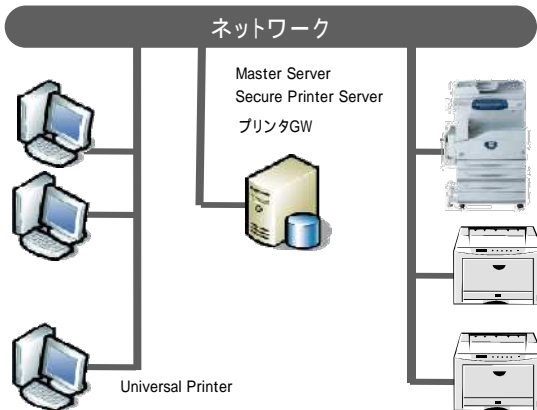
ICカードモデル



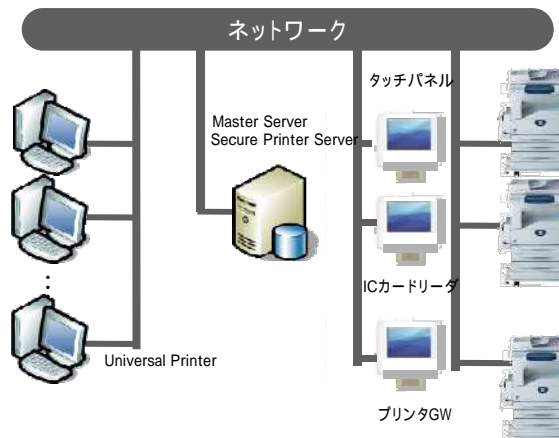
混合モデル



印刷ログモデル



タッチパネルモデル



ユーザの利用目的や既存の環境に合わせて、様々なモデルを選択/拡張/混在させることが可能です。

既存資産の有効活用	認証プリントシステムに併せてプリンタベンダを統一する必要がありません。 型式の古いプリンタにも適用可能です。
様々なICカードに適応	既存のICカード(社員証、定期券Suica/PASMO、おサイフケータイ)をそのまま利用できます。 FeliCa、Mifare (Type A)、Type BなどあらゆるICカードに対応可能。
複合機をフルに制御	複合機によるコピーやスキャンについてもログ取得 / 管理が可能(オプション)です。 認証コピーによって、無駄なコピー抑止に役立ちます。 スキャンデータを認証本人へセキュアに配信できます。
シンクライアントへの適応	シンクライアント端末に接続したプリンタも管理することができます。データだけでなく紙出力も安全に保護。
エンドユーザの利便性	プリンタや複合機の制御はサーバ側で行います。 クライアントPCにプリンタドライバのインストールは必要ありません。 出力先を意識せず、出力したいプリンタでセキュアなプリントアウトが可能になります。 認証プリントによる印刷物の放置や混在、盗み見、盗難を防止できます。
コストダウン	ICカード認証による印刷のため不要な出力を回避でき、紙代、その他消耗品の削減に貢献します。
内部統制対応	誰が、いつ、何を、どれだけ印刷したか、印刷ログと印刷イメージログ(PDF)として取得、管理できます。 万が一の情報漏洩の場合も、印刷ログによって発生源の特定が容易になります。
紙媒体も管理が容易	ユーザID、印刷日時をフッターに強制印刷が可能です。 ID印刷により、無駄な印刷の抑止効果が期待できるとともに、情報漏洩抑止にも役立ちます。